

# 令和7年度 松枝小学校 学校経営報告

達成率	90以上	高度に達成
80～89	ほぼ達成	79以下
		努力を要する

1 教員の授業力と子供の学力の向上を図るために（今年度の重点）

目 標	具体的取組計画	自己評価（○）課題と対応策（△）	達成率
<p>・まなぶ子 基礎・基本の定 向上</p>	<p>・学習規律「松枝小スタンダード」の定着 チャイム着席、挙手や返事、話をしっかり聞く</p> <p>・「分かる・できる」授業づくりで ICT の活用 (各学級年間100回)</p> <p>・繰り返し学習の充実 はちおうじっ子ミニマムやドリル型学習コンテ ンツの活用、朝学習「松枝タイム」や每学期 末の補習等</p> <p>・家庭学習習慣の定着 家庭学習時間の設定、宿題は学年×10分以上を 基本とする</p> <p>・外国語活動・外国語の充実（3・4年生35時 間、5・6年生70時間） イングリッシュ・キャラバンや時間講師の活用</p>	<p>・学年補佐を活用しながら、学習規律が定着してきた。 △返事については課題がある。低学年のうちから意識化を図る。</p> <p>・「分かる・できる」授業づくりで、全学級で毎日 ICT を活用した 授業を実施した。肯定的評価は保護者91%、児童96%である。</p> <p>・朝学習及び学期末補習3回で全学年繰り返し学習に取り組ん だ。また全学年で個別最適なドリル型学習コンテンツを活用し た。その結果、6年生ははちおうじっ子ミニマム50%未達成率 26%から14%に改善した。5・6年は市学力調査で1回目より 2回目の方が正答率が上がった。 △今後も繰り返し学習を行い、基礎学力の定着を図る。</p> <p>・年2回家庭学習時間に取り組み、81%の児童が家庭学習に取り 組むことができた。 △基礎学力の定着に向けて家庭学習の習慣化の大切さを家庭に啓 発していく。</p> <p>・外国語活動・外国語の時間では、担任や講師、ALTがデジタル 教科書を活用した授業展開ができた。</p> <p>・東京都の外国語に触れる機会の創出事業を活用して6年でイン グリッシュ・キャラバンを実施し、英語に興味・関心をもたせ ることができた。6月25日</p>	85%
<p>・まなぶ子 活用能力、探究 する力の育成</p>	<p>・読書のまち八王子の推進 学校司書や学校図書館、やまゆり館の活用、 読書週間、読書ボランティアの活用</p> <p>・地域に学ぶ機会の拡充・キャリア教育 地域人材、外部講師と連携する学習の推進</p>	<p>・今年度、やまゆり館が開館し、全学年でやまゆり館を活用した 授業展開ができた。</p> <p>・毎月1回ボランティアによる読み聞かせを全学年で実施でき た。</p> <p>・学校司書（毎週木曜日）や学校図書館を活用した授業展開がで きた。</p> <p>・年3回読書週間を実施した。図書委員会児童による企画も実施 した。6月2日～13日、10月20日～31日、2月9日～20日 △今後も本に触れる機会の大切さについて家庭に啓発していく。</p> <p>・全学年地域の人材や施設等を活用した授業を実施できた。 1年昔遊び、ふれあい給食 12月9日 2年町探検 10月21日 3年桑都日本遺産センター、高尾599 ミュージアム6月27日 3年スーパー見学 10月17日 3年そろばん 10月16日、23日 3年手話 10月24日 3年ふるさと学習室3月5日 4年戸吹クリーンセンター6月6日 4年コニカミノルタサイエンスドーム6月24日 4年水道キャラバン7月18日 4年福祉出前授業、福祉体験 10月17日 4年笑顔と学びの体験活動プロジェクト（車人形）10月29日 5年脱線に関する授業 10月22日 6年コニカミノルタサイエンスドーム11月27日 6年SDGs 出前授業2月6日 6年認知症サポーター講座2月24日 △今後も地域教材を見付け、活用していく必要がある。</p>	95%
<p>・まなぶ子 教員の授業力の 向上</p>	<p>・学力向上委員会で児童の実態把握と改善策を提 案</p> <p>・校内研究「算数科」で、「考動」できる児童の育 成</p> <p>・校内研修として、校内OJT研修を年30回以上</p> <p>・年3回以上教員同士の授業公開と授業観察によ る指導</p> <p>・各種研究会や研修会、指導教諭の授業参観の励</p>	<p>・月1回学力向上委員会を開催し、学力調査の分析や家庭学習等 の実態を把握した。それをもとに家庭学習時間や補習の企画を行 い、学力向上を図った。</p> <p>・校内研究では研究授業を4回実施し、算数科における「考動」す る児童の育成について手立てを深めた。 △学習指導要領が示す「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業 改善が今後も必要である。</p> <p>・教員同士の校内OJT研修を年30回以上実施した。</p> <p>・全教員が年2回以上授業公開できた。 △教員同士の授業公開を日常的にできるように取り組んでいく。</p> <p>・全ての教員が各種研究会や研修会に取り組んだ。また、指導教諭 の授業参観をした教員もいる。</p>	85%

行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教室指導員による特別支援教育研修は、児童理解につながった。</li> <li>△研修会での学びを校内に還元できるようにしていく。</li> </ul>
---	---

## 2 『心身ともの健やかさ（体力向上、食育）』を育むために

<ul style="list-style-type: none"> <li>・つよい子 体の健康と食育</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>体力向上の取組</b> 体力調査を実施・分析し、必要な領域を日々の授業で重点指導する。体力向上週間に取り組む。</li> <li>・<b>オリンピック・パラリンピック教育の取組</b></li> <li>・<b>SNS の適切な使い方を身に付けさせる。</b> SNS ルール、メディアコントロール、SOS の出し方</li> <li>・<b>そうじの仕方スタンダードの徹底</b> 後片付けの励行</li> <li>・<b>食育の推進</b> 給食指導、食育便り、お昼の放送、アレルギー研修</li> <li>・<b>学校保健委員会で健康に関する活動を行う。</b></li> <li>・<b>健康教育の実施</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体力向上の日常化に向けて、体力向上週間を実施した。大縄週間では大縄大会を実施し、それに向けて、体育の時間に練習をするなど、各学級が目標達成に向けて取り組むことができた。短縄週間はたてわり班で実施し、異学年交流の機会が増えた。 大縄週間5月1日～16日 大縄大会5月16日 短縄週間12月1日～5日 持久走週間3月2日～6日</li> <li>・6月10日の体力調査の結果から、投力の向上に向けて、体育委員会の児童がドッジボール大会を11月28日に実施した。各学級が目標に向けて意欲的に練習に取り組み、学級の一体感が増した。</li> <li>・猛暑の中、安全に配慮しながら予定通り水泳指導を実施できた。 △運動の日常化を図り、体力向上を図ることが必要である。</li> <li>・6年は特別スタジアムツアーに参加し、スポーツや選手への関心をもつことができた。6月23日</li> <li>・体育委員会が職員室前掲示板に世界陸上の記録等を表示し、児童に運動への関心をもたせることができた。</li> <li>・12月1日からノーメディア週間を実施し、メディアコントロールの意識化を図った。SOS の出し方について校長講話だけでなく紙面配布した。 △ SNS によるトラブルのないように、今後も SNS ルールについて指導を継続していく。保護者にも啓発していく △今後も SOS の出し方について安全教育のなかで繰り返し指導していく必要がある。</li> <li>・掃除の時間だけでなく、日々の学習活動の中でも後片付けに取り組むことができた。 △今後、児童数が減るので、掃除分担場所等の検討が必要である。</li> <li>・栄養や食品に対する理解を深める授業を実施した。 1年は栄養士がそらまめのさやむきを実施した。5月30日 また、給食の時間に栄養指導を実施した。9月8日 2年は栄養士がグリーンピースのさやむきを実施した。5月16日 3年は栄養士がとうもろこしの皮むきを実施した。7月11日 4年は保健体育の授業で、5・6年は家庭科の授業で栄養について実施した。 給食の時間に栄養士が各学級をまわり、必要に応じて栄養指導を実施した。また給食見本をモニターで映すことで、教室で盛り付けを確認することができた。</li> <li>・1年給食室探検を実施し、給食への興味をもたせ、食育につなげた。7月23日</li> <li>・全学級でおはし大作戦6月16日～20日、もったいない大作戦10月20日～24日に実施した。</li> <li>・毎月、食育便りを発行し、保護者に食育の大切さを啓発した。</li> <li>・事前に栄養士による食育指導を受けた保健給食委員会の児童が昼に放送をし、児童の食への興味をもたせることができた。(年189回)。</li> <li>・年度途中で調理業者が変更になったが、栄養士が業者と密に連携を図りながら、安心安全な給食を提供することができた。</li> <li>・学校保健委員会では、児童の心身の状況について紙面発表したり、保護者の質問に校医が回答するなどの取組を取り入れたりした。</li> <li>・体育の授業や体育的活動、健康教育を通して、健康的な生活を目指す素地を養うことができた。</li> <li>・4月当初に養護教諭によるアレルギー教員研修を実施した。</li> <li>・薬剤師による6年薬物乱用防止教室を実施した。2月5日</li> <li>・11月4日～9日に全学年歯の染め出しを実施した。</li> <li>・低学年の歯磨き指導を養護教諭が実施した。6月12日 △歯科検診後の受診率が当初27%から45%になった。今後も保護者への啓発が必要である。</li> </ul>	8596
---	---	---	------

### 3 『豊かな心』を育むために

<p>・えがおの子 思いやり いじめの防止</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>どの子にも居場所があり、温かな学級経営</b> 子供との信頼関係、いじめ・差別・偏見は絶対に許さない等学年で統一、Q-U や SC 面談の実施</li> <li>・ <b>挨拶の習慣の定着</b> 毎朝、校門や昇降口で教員と挨拶を行うことで、挨拶の習慣を図る。挨拶運動を実施する。</li> <li>・ <b>異学年交流の推進</b> たてわり班活動を充実させ、思いやりの心を育成する。</li> <li>・ <b>道徳教育の充実</b> 道徳教育全体計画に沿って、「生命の尊さ」を重点にし、『考え、議論する』授業を展開する。(各学級年間 35 回) ・ 道徳授業地区公開講座の実施</li> <li>・ <b>「学校いじめ防止基本方針」に則ったいじめ防止</b> 毎週 1 回のいじめ対策委員会の実施</li> <li>・ 「ふれあい月間」「八王子市ののちの大切さを共に考える日」の取組</li> <li>・ ハートフルタイムの実施</li> <li>・ <b>一人一人のニーズに応じた教育の推進</b> 不登校児童への支援「にじいろ教室」 特別支援教育の充実「みのり教室」</li> <li>・ <b>「松枝小 2020 レガシー」と人権教育の充実</b> 総合的な学習の時間の取組の充実</li> <li>・ <b>児童の自主性を活かした特別活動の充実</b> 自己実現、社会参画、合意形成の力を養う。</li> <li>・ <b>危機回避能力を高める指導の充実</b> 安全教育の推進、防災・減災教育の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全教職員で児童に関わり、温かい学級運営に取り組んだ。Q-U や SC 面談を 5 年生全員実施した。</li> <li>・ いじめや差別などないように必要に応じて学年集会を実施した。</li> <li>・ 毎朝、教員と挨拶を行い、9 割の児童が挨拶をするようになった。代表児童委員会や各学級で挨拶運動を実施した。 △すすんで挨拶ができるように、今後も挨拶運動を継続していく。</li> <li>・ たてわり班活動では、たてわり遊び (11 回) やたてわり給食 (12 月 4 日、2 月 24 日) を行い、思いやりの心をもつことができた。 △今後も高学年の自主的な態度の育成に取り組んでいく。</li> <li>・ 「特別の教科 道徳」を計画どおりに行い、児童の心の醸成を図ることができた。</li> <li>・ 道徳授業地区公開講座では、全学級授業公開を行った。また児童及び保護者に弁護士による「いじめ防止」の講演を行い、保護者の方の好評を得た。5 月 17 日</li> <li>・ 週 1 回「いじめ対策委員会」を開催し、いじめの芽の早期発見に努め、重大事案を防ぎ、児童が安心して過ごせる学校づくりに努めた。いじめ防止に向けての肯定的評価は保護者 91%、児童 93%である。</li> <li>・ ふれあい月間の実施 6 月、11 月、2 月 「八王子市ののちの大切さを共に考える日」に校長講話を実施した。また、相談できる大人をつくれるよう意識的に教職員が声掛けした。</li> <li>・ ハートフルタイムを 20 回設定し、児童が担任に相談しやすい環境づくりを行った。 松枝小ピンクシャツデーを実施した。2 月 25 日</li> <li>・ 一人一人のニーズに応じた教育の推進について保護者の肯定的評価 79%である。</li> <li>・ 別室指導員を配置したことで、毎日、別室指導教室や学級への帯同ができた。これにより安心して、登校できる児童が増えた。 △東京都の別室指導教室事業がなくなっても、継続できるように検討していく。</li> <li>・ 毎月、校内委員会を実施し、児童や保護者のニーズを把握し、必要な支援を行ってきた。みのり教室やにじいろ教室について学校便りで保護者に啓発した。</li> <li>・ 3～6 年総合的な学習の時間で「共に生きる」について系統的な学習を行うことができた。外部講師を活用し、人を大切に思う心を養った。</li> <li>・ 係活動やクラブ活動 (13 回)、委員会活動 (11 回)、子どもまつり、各種行事を予定通りに実施し、児童の自己実現を促した。 △今後も話し合い活動を取り入れ、児童の自主性を養っていく。</li> <li>・ 危機回避能力を高める指導については予定通り実施し、自分の身の安全は自分で守る行動を身に付ける意識を高めることができた。 全学年セーフティ教室 5 月 12 日 1 年歩行者安全教室 5 月 22 日 3 年自転車安全教室 9 月 10 日 5 年自転車安全教室 2 月 18 日 ・ 毎月行われる避難訓練では、想定を熟考し、Jアラート訓練 (12 月 8 日) や不審者訓練 (6 月 4 日) など様々な訓練ができた。 4 年起震車体験 11 月 7 日 △減災教育について、毎月の安全教育の充実を図る。</li> </ul>	<p style="text-align: right;">90%</p>
-----------------------------------	--	--	---------------------------------------

4 『保護者・地域と共に』 歩むために

目 標	具体的取組計画	自己評価（・）課題と対応策（◎）	達成率
<p>・保護者・地域とのコミュニケーションの充実</p>	<p>・保護者とのコミュニケーション 情報発信（Home&amp;School、ホームページの活用） 教育相談（スクールカウンセラー）の積極的な活用 学校評価の実施、行事ごとの保護者アンケート 家庭・地域の教育力の活用 教育ボランティアの整備（保護者・地域・学生等）</p> <p>・PTA や保護者による教育活動への協力 道徳授業地区公開講座での講演会の実施 校外学習ボランティア</p> <p>・学校運営協議会の充実 放課後の居場所づくり 学習支援（漢字・算数検定、放課後子ども教室での家庭教師の実施）</p> <p>おむすび大作戦</p> <p>出前授業や学習ボランティア等の人材派遣</p> <p>青少年対策川口地区の協力</p> <p>・保幼小連携の推進 近隣の保育園の先生による読み聞かせ（月1回） 教職員の交流と情報共有 次年度入学予定の園児を招いて交流活動</p>	<p>・毎日、ホームページの更新や Home &amp; School での情報発信を多くすることで、教育活動への理解を深める一端を担うことができた。保護者の肯定的評価 99%</p> <p>・学校評価でいただいた意見をすぐに検討し、できることはすぐに実践することができた。例えば、本校の特別支援教育の取組を学校便りで2回紹介した。</p> <p>・学校行事ごとに必ずアンケートを取り、次年度に向けての改善計画を立てることができた。</p> <p>・教育活動、特に校外活動や集団での校内活動では、多くの保護者ボランティアに参加・協力いただき、充実した活動になった。</p> <p>・道徳授業地区公開講座の講演会の企画・運営</p> <p>・2年町探検のボランティア</p> <p>・挨拶運動の実施</p> <p>・通学路の見守り活動の計画と見守りの実施</p> <p>・おやこ川柳の実施</p> <p>・おおり展のボランティア</p> <p>・親子交流会の実施 1年12月4日 2年3月3日 3年12月2日 5年12月1日 6年3月2日 4年生は3月6日に「10歳の誓い」を実施するため親子交流会は実施しない。</p> <p>・学校運営協議会より講師やボランティアの紹介や協力をいただき、充実した教育活動になった。</p> <p>・放課後子ども教室を週5回、長期休業中も実施した。また、家庭教師を派遣し、学習支援を行った。算数検定は人数が集まらず、実施できなかったが、漢字検定は予定通り実施した。</p> <p>・毎週金曜日におむすび等を提供し、多くの児童が喫食し、授業に集中できた。</p> <p>・1年昔遊び、6年SGDSの出前授業の交渉を行った。</p> <p>・水泳授業の見守りボランティアの実施2名</p> <p>・教員を目指す学生ボランティアを4名にし、授業見守りを行った。</p> <p>・青少年対策川口地区委員会による挨拶運動の実施。</p> <p>・青少年対策川口地区委員会より図書のご贈呈（3万円分）</p> <p>・からまつ保育園と連携を図る活動を行うことができた。読み聞かせだけでなく、補習にもからまつ保育園の職員がボランティアを行った。</p> <p>・教職員の交流や情報共有は予定通り実施した。</p> <p>・次年度入学予定の園児と1年生の交流は感染症防止のため実施できなかった。</p> <p>・来年度の保幼小連携に向けて、からまつ保育園と「架け橋プログラム」を作成した。</p> <p>△新1年が小学校生活にスムーズに移行できるよう、さらに保幼小連携を密にしていける必要がある。</p>	<p>90%</p>
<p>・小中一貫教育の推進</p>	<p>・川口中・川口小・上川口小・美山小との交流 年3回の授業参観や情報共有</p> <p>「川口中プライド（あいさつ・けじめ・思いやり）」の推進</p> <p>はちおうじっ子サミットの推進 川口中学校合唱祭りハーサル見学</p> <p>・都立八王子北高校との取組 服のカプロジェクト</p>	<p>・川口中、美山小、松枝小による公開授業と授業参観、教員の情報共有を行った。7月2日、10月1日、2月4日 小中一貫教育の取組をHPにあげ、保護者に周知した。保護者の肯定評価79%だった。来年度の9年間を見通したキャリア教育の取組について年度末保護者会で説明した。</p> <p>△今後も小中一貫で、学力定着プロジェクトチームでの課題分析、手だて検討を検討が必要である。また、川口中学校グループの取組を保護者に周知していく必要がある。</p> <p>・川口中プライドに向けて、松枝小は「あいさつ・へんじ・あとかたづけ」に取り組んだ。</p> <p>・小中合同「はちおうじっ子サミット」への提言ができた</p> <p>・6年中学校合唱祭のリハーサルの鑑賞 9月19日</p> <p>・6年川口中学校部活動体験2月27日</p> <p>・2学期高校生が全校朝会で説明し、「服の力」の協力を仰いだ。</p>	<p>80%</p>